

# ユニオンファンド 月次レポート

第164号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2022年7月6日作成

## MONTHLY TOPIC

### 希望と意志の長期投資

前回のこの欄では、目先の株価の動きはプロでも正しく予想することが難しいと書きました。短期的な変動で利益を得ることがとりわけ難しいのは、株価を大きく動かすのが投資家の心理というあやふやなものだからです。しかし中長期となると話が違ってきます。投資家の心理とは関係のない、言うなれば「良いものは良い」「上がるものは上がる」という強い力こそがカギを握ってくるからです。

#### 人為と物理

水の中にボールを沈めようとすれば沈みますが、手を放せば浮き上がってきます。前者は人為で、後者は物理、つまり物事の理(ことわり)、あるいは理屈です。投資家がおびえて売れば下がり、浮かれて買えば上がるが、行き過ぎれば反転し、あるべき水準に向かって自然に動き出す、という点で、株価の動きはこれとよく似ています。

ただ、人がいつ手を放すのかはわかりません。大勢の投資家の心理がいつどのように変わるかはわからないのです。そうであれば短期の株価変動を正確に予想できるはずがありません。しかし、手を放せばボールが浮き上がるのと同様に、長期では株価は上がるという方は、かなり確かな理屈を持ちうると思います。

#### 長期の株価上昇の源

これまで長期で株価を上昇させてきたのは、ハラハラドキドキといった短期の投資家心理などなんの関係もない、長期の経済成長であり企業業績の拡大です。その根底には、「より豊かになりたい、そのために努力する」という人間の強い希望と意志の力があり、それが強く働き続けてきたのだと私は思っています。

#### 投資家は生産者であり消費者でもある

生産活動で生み出された製品やサービスを消費できることは、とてもありがたいことです。良い物は多くの人によって強く求められます。売る側にとっては、多くの人々が求めてくれて、売上が伸び利益も増えることはもちろんハッピーですから、頑張っってより良い物を作ろうと努めます。さらに、投資家にとっても、人々が求める良い物を提供する企業であれば売上が伸び、利益が増え、自然に株価も上がるので、やはりハッピーです。

私たちは投資家であるだけでなく、過去・現在・未来の生産活動に参加し、またその成果を享受する消費者でもあります。一人ひとりの頑張りが生産と消費を通じて経済と企業業績を拡大させ、結果として株価の上昇を投資家である私たちにもたらしてくれるわけです。短期投資は難しいから長期投資、というだけではなく、私たちの希望と意志こそが長期で株価が上がる基盤であるという観点を大切にしていきたいと考えています。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## ユニオンファンド運用状況

(2022年6月末現在)

## 基準価額

29,447 円

## 純資産総額

99 億 51 百万円

## 期間別騰落率(%)

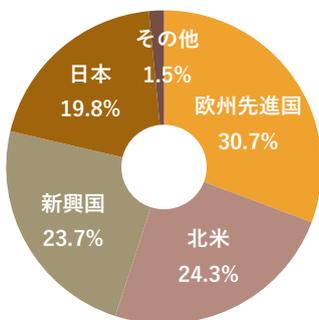
1 ヶ月	-0.12%
1 年	-4.49%
3 年	27.21%
5 年	23.14%
10 年	152.31%
設定来	194.47%

## 複利年率(%)

8.20%

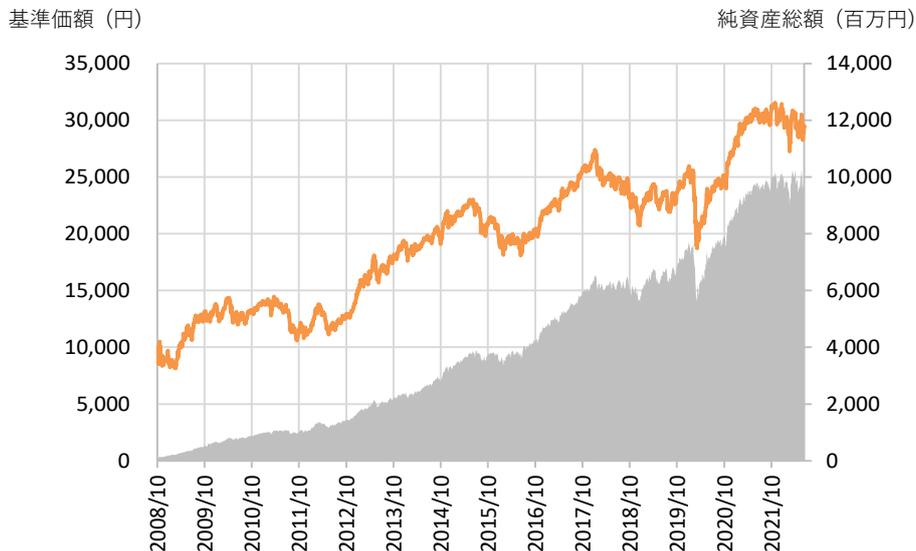
\*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

## 地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率  
(2022年5月末現在)

## 基準価額と純資産総額の推移



## 組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	4.9%	-2.1%
スパークス F	日本	11.2%	-0.7%
キャピタル F	欧米	17.8%	-0.6%
ハリス F	欧米	19.6%	-1.1%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	10.7%	0.0%
コムジェスト・エマージング F	新興国	20.3%	2.2%
現金等	-	15.4%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

## ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## 2022年6月の市場動向と運用状況

## 投資環境

6月の世界の株式市場は、5月末の切り返しの勢いを引き継いで好調にスタートしましたが、中旬にはインフレの予想以上の進行と、それを受けた金融引き締め加速への警戒感から大きく下落しました。

米国連銀（連邦準備制度理事会）は、足元の消費者物価指数が予想以上に高まったことを受け、政策金利であるFF金利を0.75%と大幅に引き上げることを決定しました。次回7月の会議でも同幅の利上げが行われるとの見方が広がったことから、年後半の景気への警戒感が高まり株価は下落しました。欧州市場でも、欧州中央銀行の関係者がインフレ抑制のために7月から利上げを進める意向を改めて示したことが株価の重荷となりました。下旬には、7月以降の利上げピッチが鈍るとの予想が広がり、株価は若干反発しました。

6月は目まぐるしい展開でしたが、結局月間では値下がりとなりました。ただ、各国が利上げを進める中で日本は金融緩和を継続する方針であることから、円は大幅に値下がりし、円建てで見た世界の株価は全体でほぼ前月末と同水準で終わりました。また、中国株の堅調を受けて新興国株は円建てで上昇しました。

## 運用の状況

ユニオンファンドの基準価額はわずかに値下がりしました。新興国に投資するコムジェスト EM が小幅ながら値上がりしましたが、他のファンドの値下がりカバーしきれませんでした。

4ファンドの買い増しを行いました。月末時点の組入比率は84.6%と、前月末から若干上昇しました。

## 今後の見通し

世界の多くの中央銀行は、金融引き締めによって消費や投資の意欲を削いで景気を冷やし、インフレを抑えようとしています。投資家は現在、こうした引き締め策が景気を不必要に悪化させるのではないかと不安視しています。景気がどの程度悪化するか、という点は、引き続き重要なポイントとなりそうです。

インフレに関しては改善の兆しも見えつつあります。消費者心理は著しく弱まっており、企業では売れ行き鈍化から在庫が増加に転じています。サプライチェーンの障害による供給不足も、部分的に改善に向かっている模様です。エネルギーと食料品の価格は、ロシア・ウクライナ戦争で一段と高騰しましたが、足元では下落に転じています。

ただ、問題はインフレの水準です。とりわけ米国連銀は、目標に掲げている2%からかけ離れた高水準となっているインフレの押さえ込みを最優先する考えであり、当面は大幅な利上げを継続すると予想されます。量的緩和の反対である量的引き締めも予定通り6月に開始し、現在急速に進行中です。

こうしたことから、世界の投資家は弱気ムードに包まれています。私たち長期の投資家にとっては安値で買い増しを進める大きなチャンスでもあります。目先の環境は決して明るくはなく、まだ株価が下落する可能性はありますが、あまり欲張らずに、市況の軟調な局面を中心に慎重に買い増しを続けていく考えです。

運用責任者 久保田徹郎

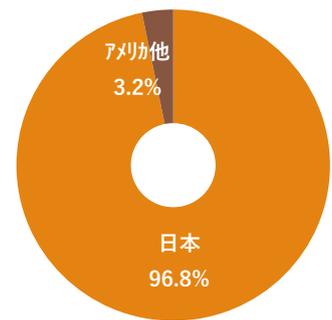
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# さわかみファンド

基準価額の推移



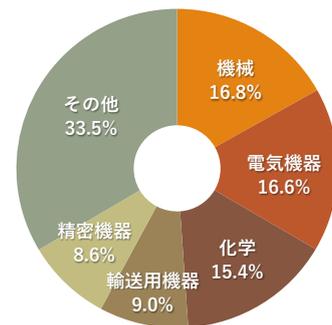
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ダイキン工業	4.6%	日本	機械	エアコン世界首位
2 プリヂストーン	4.2%	日本	ゴム製品	夕竹世界大手
3 日本電産	4.0%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
4 テルモ	3.6%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
5 信越化学工業	3.5%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
6 トヨタ自動車	3.3%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
7 浜松ホトニクス	3.3%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
8 INPEX	2.6%	日本	鉱業	石油・天然ガス開発
9 TOTO	2.6%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
10 花王	2.5%	日本	化学	トイ列一首位
上位10銘柄	34.1%		現金等	11.8%

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2022年6月末現在 >

# スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



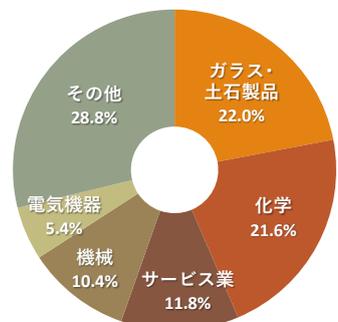
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
太陽HD		日本	化学	プリント配線板用レジスト材等
クミアイ化学工業		日本	化学	国内農業大手
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
竹内製作所		日本	機械	小型建設機械
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、スケーラー
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ローン保証会社
ダイレクトマーケティングミックス		日本	サービス業	営業・マーケティング代行等
パイロットコーポレーション		日本	その他製品	総合筆記具メーカー
ニチハ		日本	ガラス・土石製品	窯業系外装材
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
現金等				5.1%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2022年5月末現在 >

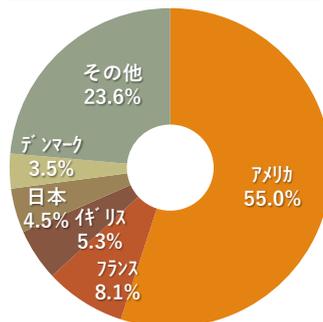
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



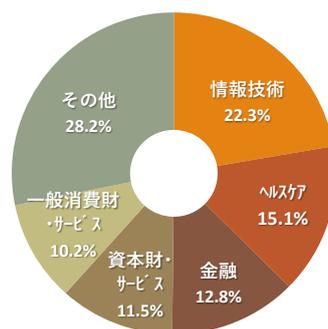
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Broadcom	2.2%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
2 Microsoft	2.0%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
3 UnitedHealth	1.9%	アメリカ	ヘルスケア	医療保険、ヘルスケアサービス
4 Novo Nordisk	1.8%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
5 ASML	1.8%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
6 Apple	1.8%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
7 TSMC	1.7%	台湾	情報技術	半導体メーカー
8 AstraZeneca	1.7%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
9 AIA	1.4%	香港	金融	生保・金融サービス
10 Visa	1.4%	アメリカ	情報技術	世界有数のクレジットカード
上位10銘柄	17.7%	現金等	6.8%	

業種別構成比



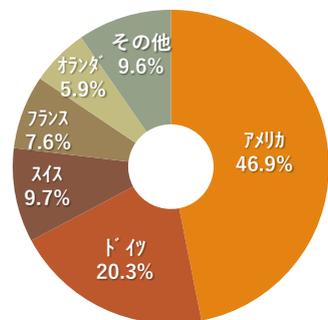
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2022年5月末現在>

# ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュース株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



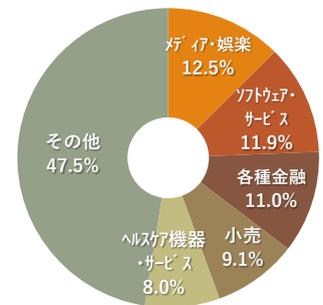
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ALPHABET	5.7%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
2 BNP PARIBAS	4.0%	フランス	銀行	フランス大手銀行
3 FISERV	4.0%	アメリカ	ソフトウェア・サービス	金融機関向け情報処理サービス
4 PROSUS	3.5%	オランダ	小売	インターネットサービス
5 MERCEDES-BENZ	3.4%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
6 CHARTER COMMUNICATIONS	3.4%	アメリカ	メディア・娯楽	ケーブルテレビ、携帯電話
7 BAYER	3.3%	ドイツ	医薬品・バイオ	大手化学医薬品メーカー
8 ALLIANZ	3.2%	ドイツ	保険	総合保険大手
9 AMAZON.COM	2.9%	アメリカ	小売	ECサイト、ウェブサービス
10 CREDIT SUISSE	2.9%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
上位10銘柄	36.1%	現金等	3.5%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2022年5月末現在>

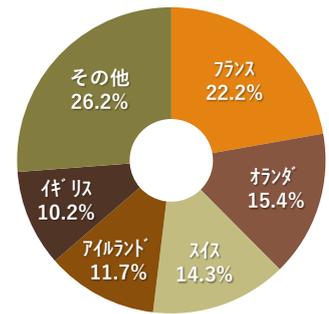
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



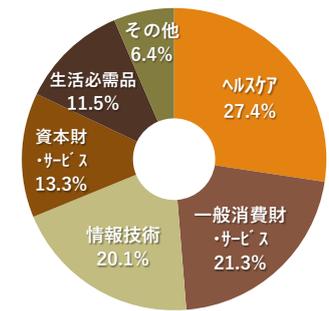
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 NOVO NORDISK	7.8%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
2 ASML	6.4%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
3 ESSILORLUXOTTICA	4.9%	フランス	一般消費財・サービス	光学製品
4 LINDE	4.6%	イギリス	素材	産業ガス世界大手
5 LVMH	4.5%	フランス	一般消費財・サービス	ファッション等高級ブランド世界大手
6 ALCON	4.2%	スイス	ヘルスケア	眼科医療機器・薬剤
7 ACCENTURE	4.1%	アイルランド	情報技術	総合コンサルティング会社
8 ICON	3.5%	アイルランド	ヘルスケア	医薬品開発受託
9 STRAUMANN HD	3.3%	スイス	ヘルスケア	歯科インプラントメーカー
10 EXPERIAN	3.1%	イギリス	資本財・サービス	データベース・分析ツールの提供
<b>上位10銘柄</b>	<b>46.3%</b>	<b>現金等</b>	<b>2.3%</b>	

業種別構成比(マザーファンド)



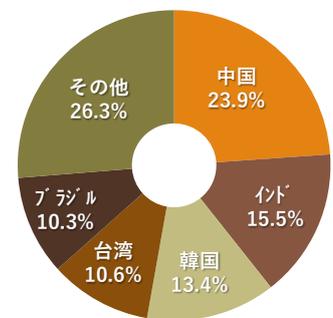
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2022年6月末現在>

# コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



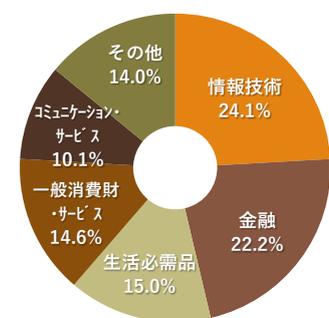
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC ADR	6.5%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 HOUSING DEVELOP. FINANCE	4.7%	インド	金融	インド最大手の住宅開発金融会社
3 SAMSUNG ELECTRONICS	4.6%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
4 INNER MONGOLIA YILI	4.6%	中国	生活必需品	乳製品国内大手
5 AIA	4.3%	香港	金融	生保・金融サービス
6 FOMENTO ECONOMICO	4.3%	メキシコ	生活必需品	飲料、コンビニチェーン
7 COGNIZANT TECHNOLOGY	4.1%	アメリカ	情報技術	インドに受託拠点を置くIT会社
8 TENCENT	4.0%	中国	コミュニケーション・サービス	ソーシャルネットワーキング等
9 MARUTI SUZUKI	3.8%	インド	一般消費財・サービス	スズキの子会社
10 BB SEGURIDADE	3.6%	ブラジル	金融	保険大手
<b>上位10銘柄</b>	<b>44.6%</b>	<b>現金等</b>	<b>7.2%</b>	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2022年6月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## NOTICE

## 業務管理部からのお知らせ

### 目論見書の改訂について

2022年6月30日にユニオンファンドの目論見書を改訂いたしました。

#### 【今回の主な改訂箇所】

1. 委託会社等の情報
2. 投資リスク（「その他の留意点」など）の追加
3. 運用実績情報の更新

※ 新たな交付目論見書、請求目論見書は、弊社ホームページに掲載しています。

※ 今回の目論見書改訂において重要な事項に変更はありません。

「目論見書不交付の同意」をされているお客様への新たな交付目論見書の交付は省略させていただきます（交付をご希望の場合は、弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）までお申し出ください。）。

### 取引残高報告書について

今回、「2022年4月～6月」の期間中にお取引があったお客様を対象に、郵送にてご報告しています。

※残高があるお客様で、前回の「取引残高報告書」作成日以降お取引がない場合には、1年毎のご報告となります。

#### 「お預り証券等の残高明細」の見方

お預り証券等の残高明細（イメージ）

銘柄名	数量	評価金額合計 [a]	運用損益[a-b+c]	円
	基準価額	投資金額 [b]	※a,b,c 及び運用損益は全預り通算で算出	
（ 預 り 区 分 ）	評価金額	受取金額 [c]		
（ 決 算 日 ）	取得単価	個別元本		

数量	ユニオンファンドの残高口数です。
基準価額	作成日（2022年6月30日）現在の基準価額です。
評価金額	作成日現在の残高の「評価金額」です。 （「評価金額」＝「数量」×「基準価額」÷10,000で算出されます。）
取得単価・個別元本	これまでユニオンファンドを取得された価額の加重平均です。 一般口座でのお取引の場合は、「個別元本」のみが表示されます。
評価金額合計 [a]	評価金額の合計です。
投資金額 [b]	ご購入された金額の累計です。 ※ 相続等により入出庫があった場合は、入出庫分の購入金額または取得価額に相当する金額が増減されます。
受取金額 [c]	ご解約された金額及び受取分配金額の累計です。 ※ ユニオンファンドは設定来、分配金を出していません。
運用損益[a-b+c]	作成日現在の運用損益です。 「運用損益」＝「評価金額合計」－「投資金額」＋「受取金額」

ご不明な点がございましたら、弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお問い合わせください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## RISK AND FEE

## ユニオンファンドのリスク・手数料

## 『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

## 『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

**申 込 手 数 料** お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。  
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

**換 金 手 数 料** ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

**信 託 財 産 留 保 額** ありません。

**信 託 報 酬** 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。  
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。  
[\*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]  
\*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。  
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

**そ の 他 の 費 用** 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。